

# J A新潟中央会主催

## 第34回「私たちと農業・JA」意見文

### 3年 米山 ららさん 最優秀賞を受賞！

#### J A意見文の応募・審査概要

農業や食料、地域、環境、JAなどについて考え、高校生が提言する意見文のコンクールが行われ、今年34回目の開催を迎えました。新潟県内の高校7校から昨年を125点上回る964点の応募がありました。校内予選を通過した46点が本選に応募、最終審査に残った9点が入賞しました。

#### 審査結果と表彰

2月3日（火）に、JA新潟中央会主催第34回「私たちと農業・JA意見文」の表彰式が、新潟市西蒲区の新潟県農業大学校で行われました。

審査の結果、生物資源科3年農業生産コースの米山ららさんが、見事に最優秀賞を受賞しました。

米山さんの意見文は、規格外野菜を「もったいない」から「価値あるものへ」と変えるために、加工品への転用や総菜の材料、販売販路の拡大などを述べたものです。

本校生徒として、令和3年以来4年ぶりの最優秀賞受賞となりました。おめでとうございます。

今後のご活躍に期待いたします。



表彰式の様子



最優秀賞受賞者として発表

## 結果

### 最優秀賞

米山 らら さん

(生物資源科 3年)

「規格外野菜に

光を当てたい」



最優秀賞を受賞した米山ららさん